



7月は「川の日」「海の日」の季節

■ 「川開き」「海開き」

7月は「川開き」、「海開き」の季節です。「川開き」は、納涼開始を楽しみ、水難者供養や水難防止祈願する行事になっています。東京の「川開き」で有名なのは隅田川「両国川開き」です。たくさんの方が打ち上げ花火を見物するようになり、東京の景物詩としてにぎわいます。「海開き」は、海水浴場に海に泳ぎに来る人々が安心して泳げるように監視員やライフセーバー、サメ防護ネット・オイルフェンス、駐車場、更衣室、シャワー、トイレ等、海の家、売店・飲食店を開設することを海開きといいます。「川開き」「海開き」ともに7月上旬から中旬に行われることが多いです。

● 「川の日」の謂れと目的

1996年から国土交通省は7月7日を「川の日」としました。7月7日にした理由は?

- ①7月7日は七夕伝説の「天の川」のイメージがあること
 - ②7月が河川愛護月間であること
 - ③季節的に水に親しみやすいこと
- だそうです。

・「川の日」を定めた目的は

- ①都市の発展、治水事業の発展などを契機に、希薄化した人と河川との関係を見直し、河川に対する人々の関心を取り戻すこと
 - ②地域の良好な環境づくりなどについて流域の住民・自治体が一緒になって考え、取り組む、といった地域の活動を支援すること
- だそうです。

● 「海の日」の謂れと目的

1876年東北の巡航を終えられた明治天皇が青森市内の浜町棧橋から燈台巡視船汽船「明治丸」に乗り込み7月20日、無事横浜に帰着されました。1941年この史実を記念して7月20日が海の記念日に制定されました。

・「海の日」を定めた目的は

海洋国家として広く日本国民に海への理解と関心を求め、海の恩恵に感謝し海洋日本への繁栄を願うことを目的としています。

「川の日」は祝日ではありません。今年の「海の日」はハッピーマンデーとして7月の第三月曜日の7月18日になります。

あなたもわずか30秒で情報通！ 活用法いろいろ コミュニケーションペーパー



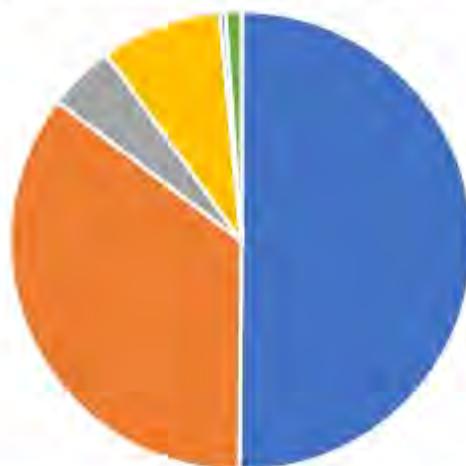
水の事故が起こる場所は？

水の事故は、実際にどれほどの件数が起き、何人の方が亡くなり、どのような場所で起きているのでしょうか？ 警察庁調査における水難の概況では2020年に全国で発生した水の事故は1,353件、水難に遭った人の数は1,547人に上っています。そのうち722人が亡くなったり行方不明となったりしています。

●水の事故の死亡・行方不明はどのような場所で発生しているのでしょうか？

死者・行方不明者の割合を場所別にみると、グラフのように1位が「海」で全体の50.1%、2位が「河川」(35.2%)、3位が「用水路」(8.4%)、4位が「湖沼池」(4.7%)となっています。

場所別水難事故の割合



海	50.1%
河川	35.2%
湖沼	4.7%
用水路	8.4%
プール	0.4%
その他	1.1%

■海 ■河川 ■湖沼 ■用水路 ■プール ■その他

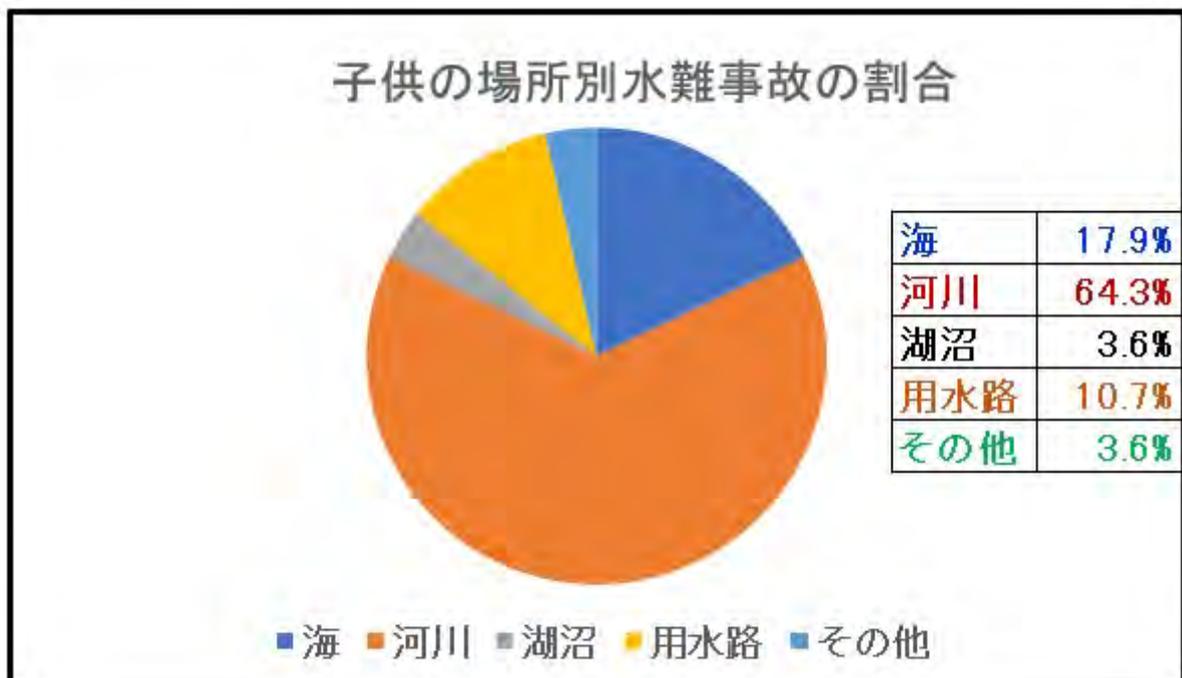
あなたもわずか30秒で情報通！活用法いろいろ コミュニケーションペーパー



場所別、子供の水の事故は？

●子供の場合はどんな場所で起こるでしょうか？

子供（中学生以下）の死者・行方不明者を場所別にみると、グラフのように1位が「河川」で全体の64.3%、次いで「海」（17.9%）、「用水路」（10.7%）、「湖沼池」（3.6%）となっています。子供の場合は、河川での水遊びによる事故が多く発生しています。



●水の事故が起きる原因は？

水の事故の死亡・行方不明が、どのような場合に起きているかをみると、31.0%が「魚とり・釣り中」、9.3%が「水遊び中」、5.4%が「水泳中」、そして6.1%が「作業中」となっています。

あなたもわずか30秒で情報通！ 活用法いろいろ コミュニケーションペーパー



川の事故を防ぐには？

●一人で遊ばせない

子供は川で泳ぐことだけでなく、魚とりや釣り、水遊びやボート遊びをすることがあります。川の遊びを一人でして事故に遭うことがあります。絶対に一人では遊ばせないようにします。

●急な増水に気をつけよう

上流の天候などによって川の流れは大きく変化します。安全と思われる場所でも、上流で豪雨などがあると急に増水し、水難につながる危険があります。

●川の地形に気を付けよう

川は曲がり方、傾斜、川幅、岩の突出などによって、右岸、左岸でも川の流れが違ってきます。川底に深みがあったりするため急に流されたり、深みにはまったりする危険があります。

●出掛ける前に天気や川の情報をチェックしよう

川などに行く前に、天気や川の情報をチェックしましょう。悪天候が予想されているときは、無理をせず、中止・延期を検討しましょう。

●中州に注意

中州は、急な増水により水没する可能性があり、増水すると逃げ道がなくなり、取り残されてしまう危険があります。中州で遊ぶことは避けましょう。

●天気や川の変化に注意する

次のような変化が見られたときは、川の水が急に増えるサインです。すぐに避難しましょう。上流の空に黒い雲が見えたとき／雷が聞こえたとき／雨が降り始めたとき／落ち葉や流木、ゴミが流れてきたとき

●ライフジャケットを着用する。

浅い川でも急に増水することがあるため、ライフジャケットを必ず着用しましょう。

あなたも **30秒** で情報通! 活用法いろいろ コミュニケーションパーパー



海の事故を防ぐには？

●危険な場所に近づかない

海には、深さなどによって水温の変化が大きい場所、流れの激しい場所、遊泳者に絡みやすい海藻が茂っている場所などがあります。こうした危険な場所で泳がないようにしましょう。

●海水の流れに注意を払いましょう。

岸に近くても沖へ流れるとても速い潮の流れがあったりします。急に深くなる場所があったりします。また、同じ場所であっても、天候や潮の満ち引きによって変化することがありますので注意しましょう。

●健康状態が悪いときは泳がない

体調が優れないときや睡眠不足で疲れているときは、水泳は控えましょう。体に負担がかかって、事故につながる危険が高くなります。

●悪天候のときは海に出ない

天候の変化に注意し、海が荒れているときや荒れることが予想される時は、海水浴などを中止しましょう。

●子供だけでは遊ばせない

水深が浅い場所でも、子供が転倒して溺れたり、波にさらわれたりすることがあります。泳げない子供などが水遊びするときは、必ず大人が付き添い、子供から目を離さないようにします。

●ライフジャケットを着用する

釣りをするときやボートに乗るときなどは、ライフジャケットを必ず着用しましょう。

また、万一、事故が起こったときの連絡手段を確保するため、携帯電話を防水パックに入れて携行しましょう。